

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】

令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	保育課長 福士 学	
こども-09	児童福祉運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	保育課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	こども支援課・こども相談課
総合計画上の位置付け	分野	4-(2) 子育て	施策の方針	4-(2)-①子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	児童等
意図	児童福祉事業の円滑な執行を図るため。
効果	児童福祉事業が適切に実施される。

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

- 市内の保育所の児童の健康に関して、専門的な見地から指導助言ができる保健衛生嘱託員を配置した。
- 子ども・子育て支援制度に係る事務を円滑に運営するため、子ども・子育て支援システム等の運用を行った。
- 民間保育所等の人材の確保、定着及び離職防止を図るため、保育士として就労した者に対して奨励金を支給した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度		達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)		
01	児童福祉一般事務	賠償責任保険の加入及び卒園記念品の購入等		- / -	-	-	-	-
				766 / 1,500		1,593		
02	保育士表彰事務	保育士への記念品の贈呈及び表彰	表彰者数(人)	15 / 20	20	20	75%	
				28 / 39	49			
03	保健衛生任用等職員配置事務	児童の健康管理及び保育所等への助言・指導	配置数(人)	5 / 5	5	5	100%	
				206 / 337	337			
04	子ども・子育て支援システム等運用事務	システムの機器賃借及び保守等		- / -	-	-	-	-
				16,677 / 7,993	7,993	13,689		
05	保育士等就職奨励金事務	市内保育所に就職した際の奨励金	奨励金交付者数(人)	39 / 25	25	60	156%	
				7,800 / 5,000	5,000	9,500		
06				/				
07				/				
08				/				
09				/				
10				/				
		財源内訳	国県支出金	0 / 902	902	595		
			地方債	/				
			その他特定財源	/				
			一般財源	25,477 / 13,967	13,967	24,573		
			事業費の合計(千円)	25,477 / 14,869	14,869	25,168		
		人件費(千円)		8,987	8,987	7,759		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
会計年度任用職員	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	児童福祉一般事務	庶務的な経費の執行であり、指標設定には馴染まないため、指標は設定していない。	庶務的な経費の執行であり、妥当性については判断しない。	特になし
02	保育士表彰事務	永年勤続表彰であり、市の指標設定は馴染まないことから、予算積算上の人数を目標値(予定値)として、実績を把握していく。	職務に対するモチベーション向上、定着促進を図ることは、待機児童対策や保育の質向上に寄与した。	組織全体の活性化のため、対象者を保育所に勤務する看護師等にも拡大するか検討を行う。
03	保健衛生任用等職員配置事務	専門的な見地から指導助言ができる保健衛生嘱託員の配置人数を指標としている。	保育所等を巡回し、児童の健康管理及び保育所等への助言・指導を行うことで、園の保育環境と、保護者が安心して子育てができる環境の整備に寄与した。	特になし
04	子ども・子育て支援システム等運用事務	システムが適切に稼働しているかについては定量的な指標設定になじまないため、設定していない。	システムの活用は、子ども・子育て支援法に係る事務の円滑な執行に不可欠であり、構成する事業として妥当である。	子ども・子育て支援システムは、情報システムの標準化・共通化の対象となっていることから、円滑な移行を図る必要がある。
05	保育士等就職奨励金事務	民間保育所の採用状況により変動するため、市の指標設定は馴染まないことから、予算積算上の人数を目標値(予定値)として、実績を把握していく。	民間保育所等の人材の確保、定着及び離職防止を図ることは、待機児童対策や保育の質向上に寄与した。	正規職員としての採用だけでなく、非正規職員(パートタイム)の採用も課題となっていることから、対象者の拡大について検討を行う。
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
適正な事務執行のためのシステム管理や保育所における衛生管理、保育士の確保、モチベーション向上に努めていくことは必須であり、今後も継続して取り組みを行っていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	保健衛生任用職員の配置数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
看護師の配置等、自らで衛生管理が できている園を除き、市全体の保育 所を把握できる配置が必要であるた め、必要な人数を目標設定した。	目標値	5	5	5	5	5	5	
	実績値	5	5	5	5	5		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名							
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--